

薬の伝言板 ～認知症～



No253 2018年12月
丸子中央病院 薬局



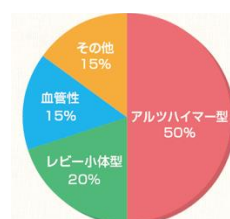
最近、「うっかりすることが増えた気がする」「人や物の名前がすぐに出てこない」と感じたことはありませんか？今回は認知症のお話です。




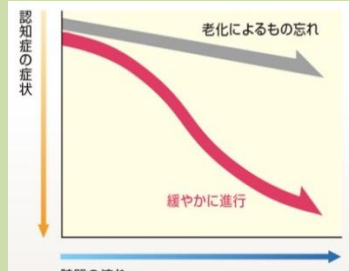
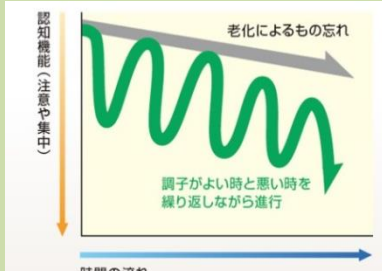
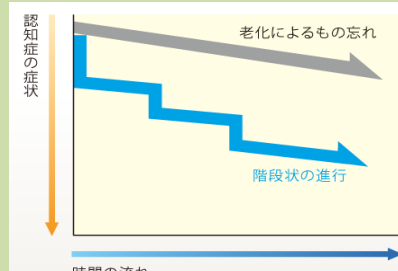
認知症の分類と特徴

認知症は脳の生理的老化による物忘れとは違い、病気によって脳の神経細胞が壊れることによって、日常生活に支障をきたした状態を言います。

主にアルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症の三つに分類されます。

認知症の種類割合



	アルツハイマー型認知症	レビー小体型認知症	血管性認知症
原因	脳内で特殊なタンパクが増えることで神経細胞が死滅し、脳が萎縮することで起こります。 	脳内でレビー小体という異常なタンパクの塊が増え、神経細胞が死滅することで起こります。脳の萎縮は見られないことが多い。 	脳梗塞、脳出血などが原因で脳の血液循環が悪くなり、脳の一部が壊死することで起こります。 
主な症状	<ul style="list-style-type: none"> 認知機能障害（もの忘れ等） もの盗られ妄想 徘徊 取り繕い 	<ul style="list-style-type: none"> 認知機能障害（注意力、視覚等） 幻視、妄想 うつ状態 パーキンソン症状→※ 睡眠時の異常行動 	<ul style="list-style-type: none"> 認知機能障害（まだら認知症） 手足のしびれ、麻痺 感情コントロールがうまくいかない
経過	 認知症の症状 時間の流れ 老化によるもの忘れ 緩やかに進行	 認知機能（注意や集中） 時間の流れ 老化によるもの忘れ 調子がよい時と悪い時を繰り返しながら進行	 認知症の症状 時間の流れ 老化によるもの忘れ 階段状の進行

※パーキンソン症状：手足が震える、動作が遅くなる、筋肉が硬くなる、体のバランスが悪くなるなどの症状。

薬物治療

認知症治療薬は全部で4種類あり、主にアルツハイマー型認知症に使用します。失われた記憶や機能を回復させる治療薬はなく、快適に生活できるよう**症状の進行を遅らせる目的**で使用します。



コリンエステラーゼ阻害薬

作用	アセチルコリンという神経伝達物質は神経と神経の情報のバトンタッチに必要な物質で、減少すると脳のネットワークがうまく働かなくなってしまう。コリンエステラーゼ阻害薬はそのアセチルコリンが分解されないように働き、脳の中でアセチルコリンが減るのを防ぎます。
商品名（成分名）	アリセプト（ドネペジル）内服薬…レビー小体型認知症にも適応があります。 レミニール（ガランタミン）内服薬 イクセロンパッチ、リバスタッチパッチ（リバスタグミン）貼付薬

コリンエステラーゼ阻害薬は吐き気や食欲不振などの消化器症状が現れることがあるので、少量から開始してゆるやかに増量し、制吐薬など使用することで副作用症状を抑えます。

NMDA受容体拮抗薬

作用	NMDA受容体というのは、グルタミン酸という神経伝達物質の受け皿ですが、アルツハイマー病では脳の中でグルタミン酸の働きが乱れ、神経細胞が障害されたり神経の情報が障害されるため、グルタミンの働きを抑えることにより、神経伝達を整えたり、神経細胞を保護する働きがあります。
商品名（成分名）	メマリー（メマンチン）内服薬

非薬物治療

音楽を聴いたり、運動をしたり、昔話をすることで脳を活性化し、残っている認知機能や生活能力を高めることで、認知症の方が持っている機能を最大限に活かした治療を行うことができます。薬物治療と併用して行うことでより高い効果が期待できます。



認知機能が低下すると薬の飲み忘れや飲みすぎのリスクが高くなります。薬を一包化してもらったり、服薬ボックスやお薬カレンダーを使用したりして確実に薬を服用できるように心がけましょう。



文責 薬局 峯村、吉村